



## 平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社  
コード番号 6466 URL <http://www.toavalve.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐澤 裕一  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 飯田 明彦

TEL 06-6416-1184

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	4,978	△17.8	△789	—	△718	—	△735	—
25年9月期第3四半期	6,060	△14.8	△85	—	△36	—	△409	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 △699百万円 (—%) 25年9月期第3四半期 △323百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	△315.03	—
25年9月期第3四半期	△175.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	11,230	6,973	62.1
25年9月期	12,356	7,742	62.7

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 6,973百万円 25年9月期 7,742百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	—	—	30.00	30.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日と期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△10.0	△550	—	△530	—	△560	—	△239.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	2,678,600 株	25年9月期	2,678,600 株
26年9月期3Q	343,835 株	25年9月期	343,719 株
26年9月期3Q	2,334,822 株	25年9月期3Q	2,334,929 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成26年6月30日まで）のわが国経済は、企業業績の改善を背景に、雇用情勢、設備投資は着実に持ち直し、個人消費も消費税の引き上げ前の駆け込み需要の反動で直近はやや弱みながらも、確実に回復が期待される中で推移いたしました。

当社グループは、発電所用バルブの製造とメンテナンスを主な事業としておりますが、依然、原子力発電所（以下、「原発」）の再稼働が実現しない状況の中、主力マーケットである原発向けの各種製品、サービスに多くを依存できない事業環境が継続しており、前連結会計年度以降、業績は非常に厳しい状況が続いております。

このような中、当第3四半期連結累計期間におきましては、原発向けでは、昨年9月に営業運転を終了し法定の定期検査に入った関西電力大飯発電所3・4号機向けのバルブ点検工事のほか、中国の原発向け逃がし弁の製造、全国の原発で再稼働に向けて行われている改造・検査・点検などに関するバルブ製造、メンテナンス案件の受注・生産活動に注力し、また、火力発電所向けでは、新設火力などの大口案件が前期までに概ね納品を完了したことに加え、原発が再稼働しないため、今春に計画されていた点検・補修計画の多くが今秋以降に延期されたことから、スポットの小口案件を中心とした営業・生産活動を行ってまいりました。

このように極めて厳しいマーケット環境が継続しておりますが、工事仕様変更等により収益認識が遅れていた関西電力大飯発電所3・4号機向け定期検査工事が、当第3四半期において売上を計上することができ、その結果、『原子力発電所定期検査工事』（表：報告セグメント内の種類別売上高を参照）の売上高が前年同期を上回る状況となりました。しかし依然、他の種類別の売上高においては前年同期を下回る状況が続いております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は49億78百万円（前年同期比17.8%減少）、営業利益は7億89百万円の赤字（前年同期は85百万円の赤字）、経常利益は7億18百万円の赤字（同36百万円の赤字）、四半期純利益は7億35百万円の赤字（同4億9百万円の赤字）となりました。

関西電力大飯発電所3・4号機向け定期検査工事の売上により、第3四半期連結会計期間の売上がこれまでより幾分改善したことから、営業損益、経常損益ともに第2四半期連結累計期間までの実績と大きく変わっていない状況です。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (%)
バルブ事業	バルブ（新製弁）	1,993	1,047	△47.5
	バルブ用取替補修部品	1,009	821	△18.7
	原子力発電所定期検査工事	106	682	543.0
	その他メンテナンス等の役務提供	2,091	1,555	△25.6
	小計	5,200	4,106	△21.0
製鋼事業	鋳鋼製品	859	872	1.5
	合計	6,060	4,978	△17.8

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産残高は112億30百万円で、前連結会計年度末に比して、11億26百万円減少いたしました。

これは、売上が低調であったことから、営業債権（受取手形及び売掛金）が6億17百万円減少したほか、四半期純損失の計上により実質的に現金及び預金が6億34百万円減少（当第3四半期連結累計期間末では余剰資金を有価証券で運用しているため、現金及び預金と有価証券の合計での増減額）したことによるものであります。

負債残高は42億56百万円で、前連結会計年度末に比して3億57百万円減少いたしました。この主な要因は長期借入金返済により3億29百万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は69億73百万円で、主に四半期純損失の計上を理由に、前連結会計年度末に比して7億69百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

依然、当第3四半期連結期間では、平成25年11月12日に「平成25年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を下回って推移しておりますが、現在の計画では、売上については概ね予想を達成できる見込みとなっております。

しかし特に第2四半期連結累計期間までの売上が低調であったため、損益は既に通期の予想を上回る赤字を計上している状況で、第3四半期連結会計期間においても、第2四半期連結累計期間の状況を維持するに留まりました。

ただ、第4四半期連結会計期間においては、損益分岐点を超える売上計上を予定していることから、ある程度は回復するものと想定しており、現時点において変更はございません。今後さらに想定を精緻に検討し、必要に応じ速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,546,061	1,113,327
受取手形及び売掛金	2,658,001	2,040,108
有価証券	20,173	2,818,717
商品及び製品	125,334	172,035
仕掛品	1,348,212	1,697,571
原材料及び貯蔵品	699,407	733,158
繰延税金資産	—	6,966
その他	226,609	102,016
貸倒引当金	△6,000	△6,000
流動資産合計	9,617,799	8,677,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	382,547	361,789
機械装置及び運搬具(純額)	879,225	791,972
土地	261,363	261,363
その他(純額)	158,407	123,153
有形固定資産合計	1,681,544	1,538,278
無形固定資産	458,372	343,854
投資その他の資産		
投資有価証券	549,944	601,985
その他	87,488	102,214
貸倒引当金	△38,344	△33,844
投資その他の資産合計	599,088	670,355
固定資産合計	2,739,005	2,552,488
資産合計	12,356,805	11,230,389
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	717,385	685,229
短期借入金	20,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	439,992	439,992
未払法人税等	16,927	3,121
繰延税金負債	2,576	—
賞与引当金	239,771	113,844
受注損失引当金	125,086	301,940
その他	442,276	453,496
流動負債合計	2,004,015	2,007,623
固定負債		
長期借入金	1,675,012	1,345,018
繰延税金負債	71,510	91,872
退職給付引当金	777,521	654,720
P C B 処理引当金	64,972	63,606
その他	20,908	93,949
固定負債合計	2,609,926	2,249,167
負債合計	4,613,941	4,256,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	2,019,967	2,019,967
利益剰余金	4,425,796	3,620,205
自己株式	△615,649	△615,792
株主資本合計	7,569,674	6,763,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	167,421	200,665
為替換算調整勘定	5,768	8,993
その他の包括利益累計額合計	173,190	209,658
純資産合計	7,742,864	6,973,598
負債純資産合計	12,356,805	11,230,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,060,040	4,978,514
売上原価	4,816,797	4,484,921
売上総利益	1,243,243	493,593
販売費及び一般管理費	1,329,071	1,282,891
営業損失(△)	△85,827	△789,298
営業外収益		
受取利息	6,476	5,267
受取配当金	11,479	13,924
受取保険金	—	21,185
補助金収入	25,686	17,500
雑収入	21,634	32,524
営業外収益合計	65,276	90,402
営業外費用		
支払利息	13,858	17,373
貸倒引当金繰入額	1,304	—
雑損失	491	2,039
営業外費用合計	15,654	19,413
経常損失(△)	△36,205	△718,309
特別利益		
固定資産売却益	58	145
特別利益合計	58	145
特別損失		
固定資産処分損	1,037	2,164
リース解約損	—	11,390
特別損失合計	1,037	13,555
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,183	△731,719
法人税、住民税及び事業税	12,418	11,328
法人税等調整額	359,724	△7,504
法人税等合計	372,143	3,824
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△409,327	△735,543
四半期純損失(△)	△409,327	△735,543



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△409,327	△735,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,384	33,243
為替換算調整勘定	6,630	3,224
その他の包括利益合計	86,015	36,468
四半期包括利益	△323,312	△699,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△323,312	△699,075
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,200,917	859,123	6,060,040	—	6,060,040
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,200,917	859,123	6,060,040	—	6,060,040
セグメント利益又は損失(△)	697,768	△130,089	567,679	△653,507	△85,827

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△653,507千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,106,318	872,196	4,978,514	—	4,978,514
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	4,106,318	872,196	4,978,514	—	4,978,514
セグメント損失(△)	△17,997	△159,506	△177,504	△611,793	△789,298

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△611,793千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年6月16日開催の取締役会において子会社を設立することを決議し、平成26年7月2日に下記のとおり設立いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社が福島地区で展開しております地域除染工事は、今後一定の規模拡大を見込んでおりますが、これに確実に対応していくためには、より地元の事業者となる、即ち現地化を進めると同時に、施工能力拡大のための要員確保が重要な課題となることから、現在、本工事を共に進めている、当社のバルブメンテナンス協力会社である、株式会社クリエイトと共同で新会社を設立し、同社に地域除染工事を移管することを決定いたしました。

将来的には、除染工事のみならず、原発廃炉に関するような分野全般に事業を拡大する方向で、今後の事業戦略を策定していきたいと考えております。

2. 設立する子会社の概要

(1) 商号	東亜クリエイト株式会社
(2) 代表者の氏名	代表取締役社長 氏野 正 (当社取締役)
(3) 所在地	福島県いわき市平中神谷字六本榎11番12号
(4) 設立年月日	平成26年7月2日
(5) 事業年度の末日	9月30日
(6) 資本金の額	20,000,000円
(7) 発行済株式総数	400株
(8) 主な事業内容	除染、廃炉に関する事業
(9) 出資比率	東亜バルブエンジニアリング株式会社 240株 (60%) 株式会社クリエイト 160株 (40%)